

涼感 みやざき



特集

わたしたちの暮らしと地球温暖化
「IPCC第5次報告書」

活動レポート

正応寺こども環境学習

一歩いっぽ 推進員だより
慶林坊 伸幸さん（都城市）

貸出ツールを使って講座を開こう！

エコ用語辞典

「チームマイナス 6%」「チャレンジ 25 キャンペーン」を聞いたことがある方は少なくないと思います。これらは環境省がこれまで挙げてきた気候変動に関するキャンペーンですが、それぞれ 2005 年、2010 年に掲げられた温室効果ガスの削減目標の数値でした。政変により、また東日本大震災による影響で 25% の目標は放棄され、現在では 2005 年度比で 3.8% 減（1990 年度比で 3.1% 増）という新たな目標が設定されています。そんな中、2014 年 3 月より「Fun To Share」という新たなキャンペーンがスタートしました。これまでの削減目標数値が入ったものとは異なり、またデザインも軽らかなものへと変わっています。原子力発電所が稼働せず電力需要をこれ以上増やせない現状、物を、移動手段を、空間を、シェアすることは今後のライフスタイルの変革を考えいくうえでは大きなヒントとなり得るのではないかでしょうか。楽しみながら知識をもシェアしていくことは、一番簡単にできる温暖化防止・緩和への対策でもあります。



私たちの暮らしと地球温暖化「IPCC第5次報告書」

IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change) とは？

気候変動に関する政府間パネル。1988 年に世界気象機関 (WMO) と国連環境計画 (UNEP) により設立された国連の機関。世界中の科学者によって作成された気候変動の原因、影響等の論文について、科学的に検討し評価する。参加国は 195 か国。世界の政策決定者に対し正確でバランスの取れた科学情報を提供する役割がある。

IPCC 第5次報告書の特徴とは？

● 「2°C」が限界

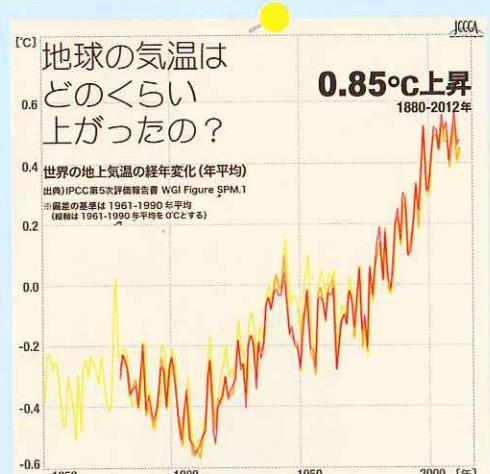
工業化以前(1850年頃)からの平均気温の上昇が2°Cを超えると、水不足や洪水が起こり、人類の健全な生存が脅かされる。AR5(第5次報告書)ではこれまでに排出されたCO₂の総排出量と平均気温の上昇量は比例関係にあるという新しい見解が出された。現在のCO₂の排出量のままでもあと30年足らずで2°Cを超ってしまうことになり、CO₂排出削減は急務と言える。

● 暖化の原因は人間活動

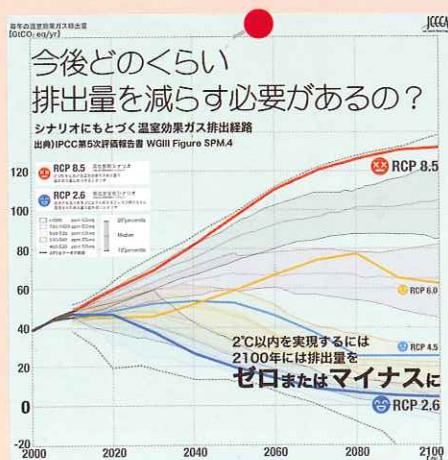
第4次報告では90%程度の「可能性が非常に高い」と表現されていたが、第5次報告では95%～100%の「可能性が極めて高い」と表現された。

● 暖化は疑う余地がない

気温・海水温・雪氷の量・海面水位などの実際に観測されたデータを根拠とし、温暖化は科学的に疑う余地がないことが記述されている。



世界の地上気温の経年変化(年平均)
出典: JCCA ウェブサイト「すぐ使える図表集」



シナリオにもとづく温室効果ガス排出経路
出典: JCCA ウェブサイト「すぐ使える図表集」

RCP 8.5(高位参照シナリオ)
最も暖化が進んだ場合のシナリオ
RCP 2.6(低位安定化シナリオ)
最も暖化を抑えた場合のシナリオ

我が国の地球温暖化対策

● 適応計画を策定

「2°C目標」を達成したとしても、気候変動の影響が生ずる恐れがあり、その影響への適応を計画的に進めることが必要とされている。政府全体の総合的、計画的な取り組みとして、適応計画を策定(平成27年夏目途)する。

● 再生可能エネルギー導入加速プログラム

風力・地熱・バイオマス・海洋エネルギーといった再生可能エネルギーに関わる施策に力を入れることで、「自立・分散型エネルギー社会の構築」による低炭素社会の実現を目指す。

もっと知りたい！という方は・・・

環境省HP <http://www.env.go.jp/earth/ipcc/5th/>

全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCA) IPCC 第5次評価報告書 特設ページ

<http://www.jcca.org/ipcc/>

都城市で正応寺こども環境学習が開催されました！

8月3日(日)に、都城市的正応寺自治公民館で「正応寺こども環境学習」が行われました。近所に住むたくさんのこどもたちが集まり、午前中は河川学習としてニジマスのつかみ取りが行われました。手作りのプールを泳ぐたくさんのニジマスたちを、こどもたちは水しぶきをあげながら元気に追いかけ、お昼には食育の一環で先ほどまで泳いでいたニジマスを炭火で焼いていただき、命のありがたさについて考えることができた時間となりました。午後には、ひむかおひさまネットワークによる地球温暖化についての授業とソーラーバッタ制作教室が行われ、ソーラーバッタ製作教室では、できあがると全員で相撲大会を開催し、優勝を目指してバッタ同士が熱戦を繰り広げていました。暑い中ではありましたが、大人もこどもも笑顔の絶えない1日となりました。



一歩いっぽ 推進員だより

慶林坊 伸幸さん（都城市）

『様々な繋がりからできること』

推進員になったきっかけとしては、自分自身の活動の幅を広げるためです。様々な活動を行っていますが、それぞれの活動が地球温暖化防止に結びつくことを目指しています。公民館と協力をしてイベントを行ったり、こどもたちと草むしりをしたり、花を植えたり、大人们で草刈りなどの活動をしており、それらも環境保全や温暖化の防止に繋げていくことができると思っています。また自分が推進員であるということと県に推進員という制度があるということを広めていく活動もしています。今回地元の正応寺自治公民館で、2、3年ぶりにこどもたちを対象にした環境イベントを行いました。今後も毎年イベントを行っていきたいと考えています。また毎年同じ事を行うのではなく、次は川の中にいる生物の観察、川原の水草が生えているところで学習を行うなど、変化させていきたいです。

もともと東京で公害防止関係の仕事をやっていましたが、今残っている自然を守っていきたいという思いから、素晴らしい自然が残っている都城市で活動を始めました。活動を行っていくなかで南九州大学との繋がりが生まれ、今回の環境イベントで協力いただいた学生サークル「M Jネットワーク」が生まれました。個人で動いてもどうしても活動範囲が狭くなりがちですが、自分の持っているもの、それぞれが得意としている部分を上手く繋げることで、様々な方面に広がりが出てきます。川をきれいにすることも最終的に温暖化防止に結びついてくるので、これからの夢として地元の川をきれいにしていけたらと思っています。



正応寺自治公民館館長 温水親男さん

正応寺公民館の館長になって6年目になります。今回のようなイベントをやるのは、大変な部分もありますが、地区的住民の方々が喜んでくれるので苦にはなりません。地区の人々の協力体制がだんだん出てきていて、自分たちの地区は自分たちの力できれいにしよう、がんばろうという気持ちが徐々に芽生えてきているを感じます。これからは地区の人々とより一層の協力体制をとりながら、みんなが喜んで、住んで良いなと思えるそういう街づくりをしていきたいです。



南九州大学M Jネットワーク

渡辺光星さん・外山彰人さん・大谷浩司さん

南九州大学は都城市に来てからまだ5、6年ということもあり、あまり地域との交流がありませんでした。都城市で行われるイベントを学生に知ってもらい、参加をして地元の人々との交流を持ちたいということで去年4月にM Jネットワークというサークルを立ち上げました。部員数は現在11名。学部の専門性を生かして活動をしています。これまで、都城地域の大淀川をきれいにしようと活動しているN P O団体と水質調査や今回のイベントのような活動を行ってきました。活動をしていくことで、N P Oや企業がどのような仕事をしているのかといったような社会勉強も同時にできます。これから目標としては、M Jネットワーク自身で企画した主催イベントを実施したいと思っています。



貸出ツールを使って 講座を開こう！



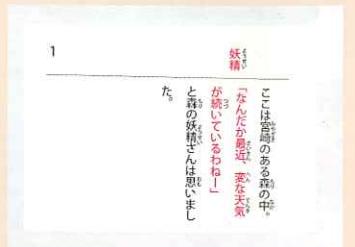
宮崎県地球温暖化防止活動推進センターでは、推進員の皆さんをはじめ、自治体・団体に対して地球温暖化や対応策を学ぶために様々なツールの貸し出しを行っています。学習会開催の際、開催先に持参し、参加の皆さんと手に取ってお使いになることが可能です。ツールは当センターで保管しておりますので、気になるツールがある場合は、当センターへお問い合わせください。

●今回の特集 「温暖化紙芝居『ようせいさんのおやくそく』」

地球温暖化ってなに？私たちにできることってどんなこと？こどもにも分かりやすい物語形式の、地球温暖化と温暖化防止についての紙芝居です。この紙芝居の主人公であるようせいさんたちと一緒に様々な仕掛けを使って楽しく学んでいきます。最後には、タイトルにもあるように普段の生活のなかで実践してもらいたいことをようせいさんとお約束します。



▲表紙



▲読み面



▲仕掛け

----- 学習会実施までの流れ -----

「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望があれば、各地域の推進員に学習会の開催を依頼することが出来ます。皆さんも学習会を開催してみませんか？

1. 学習会の開催申込み

お電話にて申込みを受け付けております。実施予定日の1ヶ月前までにお電話ください。連絡先：0985-60-3911

2. センターから各推進員へ連絡・調整

センター担当者から各推進員へ連絡を取り、日程や内容について調整を行います。

3. 学習会受付確定・実施

学習会申込者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺って学習会を実施します。

18 J-クレジット制度

温室効果ガスの排出、吸収量を国が認証してその価値をクレジット（信頼）として販売できる制度。創出されたクレジットは、企業等のCO₂排出目標の達成等に活用される。

経済産業省主導の「国内クレジット制度」と、環境省主導の「オフセット・クレジット（J-VER）制度」が発展的に統合した制度で、現在では上記の二省に加え農林水産省が関連している。

19 カーボンフットプリント

ひとつの商品について、原料調達から使用後、廃棄されるまでに排出される温室効果ガスの量をCO₂に換算し、それを商品に分かりやすく表示する仕組み。LCA（ライフサイクルアセスメント）※涼感みやざきNo.4参照）手法を用い、環境負荷を定量的に算出する。

エコ用語辞典

20 税制のグリーン化

環境負荷による税負担の差別化。日本では2012年10月より石油石炭税に上乗せされる形で、化石燃料の利用量に応じて課税される。2014年、2016年と段階的に増額し、原油・石油製品では1klあたり760円の増税となる。また税収は再生可能エネルギーの導入等に用いられる。

21 モジュール変換効率

変換効率とは、太陽光発電システムにおいて、太陽光エネルギーを電気エネルギーに変換する際の返還割合。太陽光が100照射されたうちの何%を電力に変換することができたか、という数値指標。モジュール変換効率は、太陽電池モジュール（パネル）1平方メートルあたりの変換効率を指す。

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター通信 「涼感みやざき」

発行：宮崎県地球温暖化防止活動推進センター（運営：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗）編集：中原憂也

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス101

TEL：0985-60-3911 FAX：0985-89-4979

URL：<http://www.mc3a.org/>

E-mail：mcccaoffice@mc3a.org